

新型コロナウイルス感染症におけるゆりかごとしての取り組み（第9版）

令和4年1月21日

背景

全国感染者数は再度急増傾向にあり、水戸市内においても感染者数は増加傾向である。全国的にもまん延防止など、オミクロン株による感染者数急増を警戒するために、一度緩和した規程を改めて見直す必要がある。感染者が発生したとしても、取り組みがしっかりされている事業所では、陽性者が発生したものの、他の職員が濃厚接触者に該当することが無かったため、数日後には通常通り運営を再開することができている。改めて濃厚接触者の定義を確認すると以下ようになる。（令和4年1月21日現在も濃厚接触者の定義に変更はなし）

濃厚接触者は、新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、或いは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。

濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は上述のとおり、1. 距離の近さと2. 時間の長さです。必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離（1m程度以内）で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

新型コロナウイルス感染者から、ウイルスがうつる可能性がある期間（発症2日前から入院等をした日まで）に接触のあった方々について、関係性、接触の程度などについて、保健所が調査（積極的疫学調査）を行い、個別に濃厚接触者に該当するかどうか判断します。

（令和2年7月31日 厚生労働省ホームページより抜粋）

これらを鑑みて、陽性者がでてしまうことは仕方ないとしても、新型コロナウイルス感染症に負けない事業運営目標を達成するためにも、改めて職員全体で行うこと、仕事以外での行動指針、各部門で留意することについて整理し、**1月22日以降、**条件を**規制**して確実な実践を行いたいと考える。この規程は、各部門で留意すること以外を取りまとめたものなので各部門でより具体的な対応策をまとめることとする。

新型コロナウイルス感染症における事業運営目標

- 「職員も利用者も誰一人、新型コロナウイルス感染症の犠牲者にしない」
- 「事業所閉鎖を避け、必要としている方へサービス提供を継続すること」

全職員の行動指針

- 1.自分の身は、自分で守る。(コロナワクチン接種も含む)
- 2.感染予防策を自分でもしっかりと学び、感染予防策を各自が実践する。
- 3.業務外における自分を含む周囲の人々も含めて行動指針を守る。
- 4.コロナを恐れて人を恐れず。差別思考をなくす。

行動指針 1 について

- ①不要不急の外出の自粛および3つの密を徹底的に避けた行動をとる。
→令和4年1月22日よりまん延防止等重点措置対象への移動については、可能な限り控える。当該地域への移動が必要な場合は、上長に報告し、部署内で対応方法を検討し、会社への報告を義務付ける。
- ②手洗い、うがいの徹底と自分が接触するものの消毒を徹底する。また、自分の行動履歴がわかるようにしておき、必要に応じて報告できるようにする。
さらに、新型コロナウイルスワクチン接種を強く勧奨する。3回目接種は、接種券が届き次第、各自予約を取り摂取し、接種後に会社へ報告する。



行動指針 2 について

- ③感染の成り立ちについて学ぶ。
- ④スタンダードプリコーションを理解する。
- ⑤感染防止技術を全員が訓練し、実践できるようにする。
 - ・マスク・ガウン・エプロン・フェイスガード（以下 PPE という）の着脱方法
 - ・PPE の処理方法
 - ・出勤時の体温及び症状の記録の義務化(直行直帰は記録を提出。異常時は事前報告)
 - ・接触機会のある場所の適切な消毒
 - ・来客者（目安として靴を脱いで、10分前後入室・入館する方）には、ゆりかごでの「いばらきアミエちゃん」に登録してもらう。
- ⑥社内での食事は、一人で摂る。もしくは会話をしない形で、咳をしても届かない距離を保つ。

行動指針 3 について

- ⑦業務時間外においても、上記①・②を自分だけでなく、家族にも協力してもらう。また、新型コロナウイルスワクチン接種においても、可能な限り接種を勧奨し、罹患するリスクを最大限減らせるようにお

願います。

⑧自分及び家族などの行動履歴を把握し、感染リスクが高い行動と思われるものは、必ず上長への報告を行う。

⑨外出時には、可能な限り「いばらきアマビエちゃん」登録可能な店舗を利用する。また、厚生労働省の濃厚接触確認アプリを活用する。

⑩外食は、Stay with your community の概念における4人（同僚や家族、地元の交流がある人等）までとする。飲酒を伴う場合は、他のコミュニティと交流しないような場所（個室、屋外など）にする。会食など以外でも Stay with your community の概念における中での交流を原則とする。なお、引き続き夜の繁華街での飲食については制限を継続する。

※家族だけの会食では人数制限は設けないこととする。

Stay with your community の概念：<https://livinglabsupportoffice.yokohama/2020/10/06/otagaihama13-staywithyourcommunity/>

⑪抗原検査やPCR検査を積極的に活用し、検査機会を多く設けること。少しでも体調に不安がある場合は、速やかに検査を行い、上長の判断を受けたうえで業務にあたることとする。